

事業所名

学校法人石川キンダー学園 城山BOND

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和8年

3月

31日

法人(事業所)理念		自ら学び 自ら考え 自ら決定し 自ら行動する力・自利利他の精神									
支援方針		運動を通し、「できた」や「やってみたい」という前向きな気持ちを引き出す。 発達の土台となる「からだづくり」を行う。									
営業時間		月～金曜日	10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容											
本人支援	健康・生活	受け入れ時に挨拶を交わし、保護者と健康状態の共有をし、視診する。 日常生活の中で、服の着脱や使ったものの後始末など、自分のことが自分でできるよう、活動を通じた支援をする。									
	運動・感覚	自身の身体の大きさを知り、支えたり使ったり、ボディイメージを持ちながら、姿勢や運動・動作の基本的な能力の向上を目指す。 運動器具を用いて、特性に合わせて感覚統合に繋がる活動を提案し、身体の土台づくりを行う。									
	認知・行動	種目を選択する機会を設けることで、自分で意思を決定し、表現する機会を作る。 取り組む時間や回数など、日常生活に繋がる概念に触れながら、課題・活動に取り組む。									
	言語 コミュニケーション	職員とは原則1対1で関わり、言語的コミュニケーション(言葉や文字)や非言語的コミュニケーション(表情や触れ合い)を設ける。 表情カードや・平仮名カードを用い、自分の気持ちを伝えたり受け取ったりする方法の選択肢を増やす。職員との関わりから、人との関わりを広げる。									
	人間関係 社会性	まずは職員との関わりを深め、安心できる場所を作る。 自己理解と他者理解の経験を積み、社会性を伸ばしていく。 時には、協力したり対決をしたり、集団生活や就学に向けた支援を行なう。									
家族支援		ご家庭での様子や好きなもの・頑張っていることをお伺いする。 活動中の声掛けや関わり方に反映し、日常生活へと繋がるよう支援する。				移行支援		就学を見据え、利用児童に合わせた支援目標や支援内容を設定する。 自分の力で取り組めることやものを増やし、自信に繋がるよう支援する。			
地域支援・地域連携		相談支援事業所や行政、利用児童に関わる施設等と連携を図り、 情報共有を行い、地域の中で安心して過ごせる環境作りを目指す。				職員の質の向上		定期的に支援に関する研修を行い、職員の知識・技術向上を図る。 外部研修や見学の機会を設け、客観的な視点から支援の幅を広げる。 会議や朝礼、支援記録の振り返りから、職員間で情報共有を行う。			
主な行事等		季節の行事に合わせたイベントの開催・製作									